

食品×ITの専門情報誌 食品ITマガジン

食品ITマガジンは内田洋行が発行する食品業界のIT導入事例や、食に関連するお役立ち情報、最新の業界動向などを紹介する情報誌です。各分野で活躍する有識者コラムやITで自社のデジタル化に成功したお客様インタビューなど、様々な情報を発信しています。ぜひ、ダウンロードしてご覧ください。

最新
Vol.26配布中

バックナンバーも
ご用意しています!



最新号のダウンロードはこちら

<https://pages.uchida.co.jp/foodsit-v26-dl.html>



バックナンバー

<https://www.uchida.co.jp/system/cocktail/food/itmagazine/>

無料
ダウンロード



UCHIDA



食品業の課題解決セミナーを15本以上オンデマンド配信
開催期間中いつでもご視聴いただけます

【お問い合わせ】

株式会社内田洋行 食品ITフェアオンライン事務局
juchidafair@uchida.co.jp

各セミナーはオンデマンド配信のため、開催期間中いつでもご視聴可能です。

セミナー申込はこちら 下記URLよりご登録をお願いいたします。

https://www.uchida.co.jp/system/f-itfair/?ss_ad_code=FIT26045

お申込み時に「お申込み受付のお知らせ」をメールでお送りいたします。
ご視聴方法につきましては、開催当日までにメールにてご案内いたします。



※セミナー内容は都合により変更になる場合がございます。最新情報はウェブサイトをご確認をお願いいたします。
※競合企業様や個人の方のお申込みはご遠慮いただきますようお願いいたします。

申込URL

https://www.uchida.co.jp/system/f-itfair/?ss_ad_code=FIT26045

セミナーテーマ

生成AI・フードテック・セキュリティ・業界動向・BCP・原価管理・品質管理・トレーリティ・基幹業務・受注業務・在庫適正化・ペーパーレス・マーケティング・ブランド戦略

参加方法

参加無料・事前申込制(2026年2月初旬より申込開始予定)

主催 株式会社内田洋行

協賛 株式会社内田洋行ITソリューションズ、エコー電子工業株式会社、株式会社オーユーシステム

※セミナー内容はやむを得ず変更となる場合がございます。最新情報はウェブサイトをご確認ください。



セミナープログラム

お申込みいただきますと、4/14～4/30の期間中全てのセミナーを視聴することができます。

S-1 | 生成AI

Pick UP

製造業の生成AI活用最前線～生成AIやAIエージェント活用の最新動向と食品製造業適用の可能性～

AIの進化は製造業にも多くの影響と可能性をもたらしつつあります。一方、日本の製造業においては現場のカイゼン力が足枷となり、AI活用の成果が創出されにくくなっているケースも見られます。本講演では、AIの進化の動き（生成AI→AIエージェント→マルチエージェント、AtoA(Agent to Agent)など）とノーバーメッセなどにおける最新動向、食品製造業における適用の可能性についてお話しするとともに、日本企業の活用状況、課題、活用に求められることなどについてお伝えします。



合同会社アルファコンパス
代表CEO
福本 勲 氏

S-3 | 業界動向

Pick UP

「月刊食品工場長」前編集長（現副社長）が語る、食品製造業の直面する課題とIT利活用効果

食品製造業が今直面する現状と課題を振り返るとともに、IT利活用によって経営・現場が得る様々なメリット効率化、自動化による人手不足の解消、人的ミス削減、一貫管理の実現などを、ユースケースをもとに解説します。



株式会社日本食糧新聞社
代表取締役副社長
木下 猛統 氏



S-5 | フードテック

Pick UP

農林水産省が展開する食品産業の省力化投資促進策

食品産業は、国民への食料の安定供給のみならず、成長分野たるフードテックの担い手としても大きな期待を背負っています。我が国食品産業の持続的な発展に向けて、AI・ロボット技術の導入やDX等の省力化投資の重要性が増している中、2025年6月に始動した「食品企業生産性向上フォーラム」の取組など農林水産省が展開する関連政策をご紹介します。



農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品製造課 原材料調達・品質管理改善室
室長
阿辺 一郎 氏



食品企業生産性向上フォーラム

S-7 | 原価管理

戦略を動かす原価管理～食品メーカーで起きがちな「戦略と数字のズレ」とその乗り越え方～

食品業界では、多品種化・人手不足・需給変動への対応など、戦略は大きく変化しています。一方で、原価の見方が従来のままで、戦略が現場の行動にながらず、かえって逆の行動を生んでしまうことがあります。本セミナーでは、食品メーカーで起きがちな「戦略と原価管理のズレ」を整理し、改革を阻む壁とその乗り越え方を具体事例とともに解説します。すべてを精緻化しない「やりすぎない原価管理」という実践的な考え方をお伝えします。



株式会社日本能率協会コンサルティング
経営コンサルティング事業本部
チーフ・コンサルタント
近藤 駿 氏



S-1 | 生成AI

Pick UP

製造業の生成AI活用最前線～生成AIやAIエージェント活用の最新動向と食品製造業適用の可能性～

AIの進化は製造業にも多くの影響と可能性をもたらしつつあります。一方、日本の製造業においては現場のカイゼン力が足枷となり、AI活用の成果が創出されにくくなっているケースも見られます。本講演では、AIの進化の動き（生成AI→AIエージェント→マルチエージェント、AtoA(Agent to Agent)など）とノーバーメッセなどにおける最新動向、食品製造業における適用の可能性についてお話しするとともに、日本企業の活用状況、課題、活用に求められることなどについてお伝えします。



合同会社アルファコンパス
代表CEO
福本 勲 氏

S-2 | マーケティング / ブランド戦略

Pick UP

マーケティング起点で考える、食品業界のIT活用

食品業におけるマーケティングを、LTV向上の仕組みづくりとして捉え直します。顧客データの活用や体験設計を通じて、どう関係性を深め、継続的な価値創出につなげているのか。現在進めている実践事例を中心に、マーケティング×ITの可能性と今後の課題を共有します。



カンロ株式会社
常務執行役員マーケティング本部長
内山 妙子 氏

S-3 | 業界動向

Pick UP

「月刊食品工場長」前編集長（現副社長）が語る、食品製造業の直面する課題とIT利活用効果

食品製造業が今直面する現状と課題を振り返るとともに、IT利活用によって経営・現場が得る様々なメリット効率化、自動化による人手不足の解消、人的ミス削減、一貫管理の実現などを、ユースケースをもとに解説します。



株式会社日本食糧新聞社
代表取締役副社長
木下 猛統 氏



S-5 | フードテック

Pick UP

農林水産省が展開する食品産業の省力化投資促進策

食品産業は、国民への食料の安定供給のみならず、成長分野たるフードテックの担い手としても大きな期待を背負っています。我が国食品産業の持続的な発展に向けて、AI・ロボット技術の導入やDX等の省力化投資の重要性が増している中、2025年6月に始動した「食品企業生産性向上フォーラム」の取組など農林水産省が展開する関連政策をご紹介します。



農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品製造課 原材料調達・品質管理改善室
室長
阿辺 一郎 氏



食品企業生産性向上フォーラム

S-2 | マーケティング / ブランド戦略

Pick UP

マーケティング起点で考える、食品業界のIT活用

食品業におけるマーケティングを、LTV向上の仕組みづくりとして捉え直します。顧客データの活用や体験設計を通じて、どう関係性を深め、継続的な価値創出につなげているのか。現在進めている実践事例を中心に、マーケティング×ITの可能性と今後の課題を共有します。



カンロ株式会社
常務執行役員マーケティング本部長
内山 妙子 氏

S-1 | 生成AI

Pick UP

製造業の生成AI活用最前線～生成AIやAIエージェント活用の最新動向と食品製造業適用の可能性～

AIの進化は製造業にも多くの影響と可能性をもたらしつつあります。一方、日本の製造業においては現場のカイゼン力が足枷となり、AI活用の成果が創出されにくくなっているケースも見られます。本講演では、AIの進化の動き（生成AI→AIエージェント→マルチエージェント、AtoA(Agent to Agent)など）とノーバーメッセなどにおける最新動向、食品製造業における適用の可能性についてお話しするとともに、日本企業の活用状況、課題、活用に求められることなどについてお伝えします。



合同会社アルファコンパス
代表CEO
福本 勲 氏

S-3 | 業界動向

Pick UP

「月刊食品工場長」前編集長（現副社長）が語る、食品製造業の直面する課題とIT利活用効果

食品製造業が今直面する現状と課題を振り返るとともに、IT利活用によって経営・現場が得る様々なメリット効率化、自動化による人手不足の解消、人的ミス削減、一貫管理の実現などを、ユースケースをもとに解説します。



株式会社日本食糧新聞社
代表取締役副社長
木下 猛統 氏



S-5 | フードテック

Pick UP

農林水産省が展開する食品産業の省力化投資促進策

食品産業は、国民への食料の安定供給のみならず、成長分野たるフードテックの担い手としても大きな期待を背負っています。我が国食品産業の持続的な発展に向けて、AI・ロボット技術の導入やDX等の省力化投資の重要性が増している中、2025年6月に始動した「食品企業生産性向上フォーラム」の取組など農林水産省が展開する関連政策をご紹介します。



農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品製造課 原材料調達・品質管理改善室
室長
阿辺 一郎 氏



食品企業生産性向上フォーラム

S-1 | 生成AI

Pick UP

製造業の生成AI活用最前線～生成AIやAIエージェント活用の最新動向と食品製造業適用の可能性～

AIの進化は製造業にも多くの影響と可能性をもたらしつつあります。一方、日本の製造業においては現場のカイゼン力が足枷となり、AI活用の成果が創出されにくくなっているケースも見られます。本講演では、AIの進化の動き（生成AI→AIエージェント→マルチエージェント、AtoA(Agent to Agent)など）とノーバーメッセなどにおける最新動向、食品製造業における適用の可能性についてお話しするとともに、日本企業の活用状況、課題、活用に求められることなどについてお伝えします。



合同会社アルファコンパス
代表CEO
福本 勲 氏

S-3 | 業界動向

Pick UP

「月刊食品工場長」前編集長（現副社長）が語る、食品製造業の直面する課題とIT利活用効果

食品製造業が今直面する現状と課題を振り返るとともに、IT利活用によって経営・現場が得る様々なメリット効率化、自動化による人手不足の解消、人的ミス削減、一貫管理の実現などを、ユースケースをもとに解説します。



株式会社日本食糧新聞社
代表取締役副社長
木下 猛統 氏



S-5 | フードテック

Pick UP

農林水産省が展開する食品産業の省力化投資促進策

食品産業は、国民への食料の安定供給のみならず、成長分野たるフードテックの担い手としても大きな期待を背負っています。我が国食品産業の持続的な発展に向けて、AI・ロボット技術の導入やDX等の省力化投資の重要性が増している中、2025年6月に始動した「食品企業生産性向上フォーラム」の取組など農林水産省が展開する関連政策をご紹介します。



農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品製造課 原材料調達・品質管理改善室
室長
阿辺 一郎 氏



食品企業生産性向上フォーラム

S-1 | 生成AI

Pick UP

製造業の生成AI活用最前線～生成AIやAIエージェント活用の最新動向と食品製造業適用の可能性～

AIの進化は製造業にも多くの影響と可能性をもたらしつつあります。一方、日本の製造業においては現場のカイゼン力が足枷となり、AI活用の成果が創出されにくくなっているケースも見られます。本講演では、AIの進化の動き（生成AI→AIエージェント→マルチエージェント、AtoA(Agent to Agent)など）とノーバーメッセなどにおける最新動向、食品製造業における適用の可能性についてお話しするとともに、日本企業の活用状況、課題、活用に求められることなどについてお伝えします。



合同会社アルファコンパス
代表CEO
福本 勲 氏

S-3 | 業界動向

Pick UP

「月刊食品工場長」前編集長（現副社長）が語る、食品製造業の直面する課題とIT利活用効果

食品製造業が今直面する現状と課題を振り返るとともに、IT利活用によって経営・現場が得る様々なメリット効率化、自動化による人手不足の解消、人的ミス削減、一貫管理の実現などを、ユースケースをもとに解説します。



株式会社日本食糧新聞社
代表取締役副社長
木下 猛統 氏



S-5 | フードテック

Pick UP

農林水産省が展開する食品産業の省力化投資促進策

食品産業は、国民への食料の安定供給のみならず、成長分野たるフードテックの担い手としても大きな期待を背負っています。我が国食品産業の持続的な発展に向けて、AI・ロボット技術の導入やDX等の省力化投資の重要性が増している中、2025年6月に始動した「食品企業生産性向上フォーラム」の取組など農林水産省が展開する関連政策をご紹介します。